



## 平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月14日

上場会社名 株式会社バリューHR 上場取引所 東  
 コード番号 6078 URL <http://www.valuehr.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 美智雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 遠藤 良恵 TEL 03-6380-1300  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 平成29年8月28日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	1,461	16.1	212	12.8	219	28.7	135	38.3
28年12月期第2四半期	1,258	12.1	188	17.5	170	8.4	98	8.0

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 167百万円 (86.8%) 28年12月期第2四半期 89百万円 (1.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	47.83	45.13
28年12月期第2四半期	35.32	32.98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第2四半期	4,867	2,124	43.6	741.97
28年12月期	5,060	2,045	40.4	721.46

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 2,122百万円 28年12月期 2,045百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	12.50	—	23.00	35.50
29年12月期	—	14.50	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	23.00	37.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,858	11.2	403	2.1	375	4.8	239	11.3	84.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

注) 詳細は、添付資料の8ページの「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期2Q	2,876,500株	28年12月期	2,834,600株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	16,534株	28年12月期	34株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期2Q	2,836,001株	28年12月期2Q	2,776,886株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付資料の3ページを参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に個人消費も底固く、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループは「健康管理のインフラを目指す」を事業ビジョンとして、健康保険組合、企業、個人を対象に、独自のシステムを用いた健康管理サービスを以下2つの事業セグメントにより展開しております。

#### バリューカフェテリア事業

主に健康診断の予約や結果管理、結果に基づく保健指導の運営管理等の機能をもつバリューカフェテリア®システムの提供を軸に健康診断や健康行動に関するデータ管理、並びに企業や健康保険組合の健康管理業務のアウトソーシングの受託を行っております。

#### HRマネジメント事業

主に健康保険組合の新規設立支援コンサルティング及び健康保険組合事務局の運営支援としての人材派遣等の業務を行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、バリューカフェテリア®システムの新規導入団体の増加及び既存顧客サービス利用が伸び、関連収入が増加しました。

企業や健康保険組合向けの健康診断の実施に係る代行サービスでは、健診受診者の増加により健康診断データの管理収入をはじめとする事務代行料等の売上が増加しました。また、健康保険組合の運営支援分野では、新たに設立された健康保険組合事務局への人材派遣等による関連収入が増加し、売上高は総じて好調に推移しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,461,098千円（前年同四半期比16.1%増）、営業利益は212,802千円（同12.8%増）、経常利益は219,566千円（同28.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は135,660千円（同38.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### バリューカフェテリア事業

当第2四半期連結累計期間は、新たに設立された健康保険組合がバリューカフェテリア®システムの利用を開始したことにより、システム利用料が増加したほか、健康診断の実施に係る代行サービスでは、健診受診者の増加により健康診断データの管理収入や事務代行料等の収入が増加しました。

これにより、売上高は1,123,564千円（前年同四半期比19.9%増）、営業利益は389,634千円（同25.4%増）となりました。

#### HRマネジメント事業

当第2四半期連結累計期間は、新たに設立された健康保険組合事務局への人材派遣等による関連収入が増加しました。一方、健康保険組合の設立支援コンサルティングの受託件数については、前年同四半期の受託件数を下回る結果となりました。また、新規設立の健康保険組合運営支援の増加に伴う増員及びオフィス増床による費用が増加したほか、営業活動に係る販売費も増加しております。

これにより、売上高は337,533千円（前年同四半期比5.0%増）、営業利益は74,027千円（同22.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,782,392千円(前連結会計年度末は2,061,221千円)となり、278,828千円減少しました。これは、現金及び預金が384,778千円減少し、売掛金79,474千円及び、その他の流動資産が18,354千円増加したこと等が主な要因です。固定資産は3,084,872千円(前連結会計年度末2,999,149千円)となり、85,722千円増加しました。これは、投資有価証券が58,698千円及び、その他の投資その他の資産が22,808千円増加したことが主な要因です。これらの結果、総資産は4,867,265千円(前連結会計年度末は5,060,371千円)となり、193,105千円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,729,300千円(前連結会計年度末は1,893,958千円)となり、164,657千円減少しました。これは、預り金が274,034千円減少したことと、その他の流動負債に含まれる前受金が77,028千円及び、営業預り金が27,182千円増加したことが主な要因です。固定負債は1,013,328千円(前連結会計年度末は1,120,447千円)となり、107,118千円減少しました。これは、主に長期借入金が117,024千円減少したことが要因です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,124,635千円(前連結会計年度末は2,045,964千円)となり、78,670千円増加しました。これは、主に利益剰余金が70,465千円増加したことが要因です。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ384,778千円減少し、1,222,279千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は76,123千円(前年同四半期は42,556千円の獲得)となりました。これは主に売上債権等の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は90,895千円(前年同四半期は119,919千円の使用)となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出及び、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は217,759千円(前年同四半期は163,869千円の使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出、配当金の支払、並びに自己株式の取得による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績予想につきましては、平成29年2月14日付発表「平成28年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載から変更はありません。なお、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,607,058	1,222,279
売掛金	234,717	314,192
商品	103	2,604
仕掛品	4,562	7,955
貯蔵品	4,299	6,526
その他	210,478	228,833
流動資産合計	2,061,221	1,782,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	734,174	727,957
土地	1,383,681	1,383,681
その他(純額)	63,854	68,312
有形固定資産合計	2,181,710	2,179,951
無形固定資産	147,431	153,407
投資その他の資産		
投資有価証券	513,298	571,996
その他	156,709	179,517
投資その他の資産合計	670,008	751,514
固定資産合計	2,999,149	3,084,872
資産合計	5,060,371	4,867,265
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	88,218	98,637
短期借入金	245,152	234,048
未払法人税等	87,924	92,746
預り金	694,901	420,867
その他	777,762	883,002
流動負債合計	1,893,958	1,729,300
固定負債		
長期借入金	1,005,704	888,680
その他	114,743	124,648
固定負債合計	1,120,447	1,013,328
負債合計	3,014,406	2,742,629
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	471,733	481,272
資本剰余金	515,645	525,184
利益剰余金	1,043,677	1,114,143
自己株式	△58	△44,534
株主資本合計	2,030,998	2,076,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,051	45,959
その他の包括利益累計額合計	14,051	45,959
新株予約権	914	2,609
純資産合計	2,045,964	2,124,635
負債純資産合計	5,060,371	4,867,265

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,258,747	1,461,098
売上原価	735,926	865,521
売上総利益	522,821	595,576
販売費及び一般管理費	334,168	382,774
営業利益	188,653	212,802
営業外収益		
受取利息	109	14
受取配当金	1,598	1,874
補助金収入	510	5,140
保険返戻金	-	13,911
その他	1,128	3,757
営業外収益合計	3,346	24,697
営業外費用		
支払利息	14,293	11,708
その他	7,114	6,225
営業外費用合計	21,407	17,933
経常利益	170,591	219,566
特別利益		
新株予約権戻入益	290	305
特別利益合計	290	305
税金等調整前四半期純利益	170,882	219,871
法人税等	72,777	84,210
四半期純利益	98,104	135,660
親会社株主に帰属する四半期純利益	98,104	135,660

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	98,104	135,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,385	31,907
その他の包括利益合計	△8,385	31,907
四半期包括利益	89,718	167,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,718	167,568
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	170,882	219,871
減価償却費	48,117	53,704
敷金及び保証金償却額	4,319	6,233
受取利息及び受取配当金	△1,707	△1,888
補助金収入	△510	△5,140
支払利息	14,293	11,708
保険返戻金	-	△13,911
投資有価証券売却損益(△は益)	193	-
固定資産除却損	1,991	-
売上債権の増減額(△は増加)	△11,724	△79,474
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,621	△8,120
リース債務の増減額(△は減少)	△2,246	△872
リース投資資産の増減額(△は増加)	2,258	183
仕入債務の増減額(△は減少)	1,896	10,419
その他	△125,068	△193,171
小計	101,073	△459
利息及び配当金の受取額	859	1,099
利息の支払額	△14,253	△11,715
法人税等の支払額	△45,633	△70,188
補助金の受取額	510	5,140
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,556	△76,123
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△35,351	△28,881
無形固定資産の取得による支出	△27,278	△29,038
投資有価証券の取得による支出	△60,000	△14,352
敷金及び保証金の差入による支出	△11,681	△1,610
敷金及び保証金の回収による収入	4,613	-
預り保証金の返還による支出	-	△4,099
預り保証金の受入による収入	9,717	3,090
その他	60	△16,004
投資活動によるキャッシュ・フロー	△119,919	△90,895
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000	-
長期借入れによる収入	248,208	-
長期借入金の返済による支出	△387,178	△128,128
ストックオプションの行使による収入	255	19,041
新株予約権の発行による収入	609	2,037
自己株式の取得による支出	-	△44,475
配当金の支払額	△55,057	△65,527
その他	△706	△706
財務活動によるキャッシュ・フロー	△163,869	△217,759
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△241,232	△384,778
現金及び現金同等物の期首残高	1,551,942	1,607,058
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,310,710	1,222,279

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間において、株式会社健診予約.comを設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	バリューカフェ テリア事業	HRマネジメント 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	937,302	321,444	1,258,747	—	1,258,747
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	937,302	321,444	1,258,747	—	1,258,747
セグメント利益	310,730	95,914	406,644	△217,991	188,653

(注) 1. セグメント利益の調整額△217,991千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	バリューカフェ テリア事業	HRマネジメント 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,123,564	337,533	1,461,098	—	1,461,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,123,564	337,533	1,461,098	—	1,461,098
セグメント利益	389,634	74,027	463,661	△250,859	212,802

(注) 1. セグメント利益の調整額△250,859千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。